

福岡県議会令和6年2月議会 自民党代表質問が行われました !!

令和6年2月29日（木）、自民党の浦伊三夫議員が「ワンヘルスに関する国際会議の誘致活動について」、「ワンヘルスセンターの整備について」など、代表質問が行われました。



浦伊三夫議員



服部誠太郎知事

【質問】ワンヘルスに関する国際会議の誘致活動について

ワンヘルスの専門的な国際会議である「ワールドワンヘルスコンGRESS」の誘致について、具体的にどのように取り組んでいくのか、所見をお示し願います。

【知事答弁】

「ワールドワンヘルスコンGRESS」は、ワンヘルスに関する重要な課題や研究成果、政策動向等について議論する国際会議で、一昨年のシンガポール大会では、世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長など60か国120人以上の専門家が基調講演などを行い、74か国で2,383名が参加されました。

この会議は2年に1度開催され、開催地は限定されていませんので、次に立候補可能な2028年大会の福岡県開催を目指すこととしております。

今年9月に南アフリカのケープタウンで開催される大会におきまして、PRブースを出展し、大会関係者へのプロモーションを行います。

国際会議の誘致により、どう世界に貢献しようと考えているのか、お応え願います。

また、開催地決定に関わる大会役員等を招聘し、開催地として福岡県がふさわしいということをアピールしてまいります。

【質問】ワンヘルスセンターの整備について

ワンヘルスセンターの整備について、今後、ソフト面での検討も始まっていくことと思いますが、どのように取り組むお考えなのかお示し願います。

【知事答弁】

ワンヘルスセンターの中核となる保健環境研究所においては、今年度から、職員の博

士号取得を支援するとともに、文献検索ができる研究環境を整備しております。

また、動物保健衛生所の設置に向け、獣医師職員に対し、獣医系大学や国立感染症研究所等での高度な研修を行い、動物全般の保健衛生業務に対応できる人材の育成に取り組んでおります。

来年度からは、保健環境研究所が収集する病原体情報・レセプトデータや、今後、動物保健衛生所が収集する病原体情報などを一元管理いたします「ワンヘルス統合データベース」の構築や、保健環境研究所職員のスキル習得を促進するリスキリングに必要な予算を、今議会に提案させていただいております。

こういった取組により、研究力の強化、専門人材の育成を行い、センターをワンヘルスの先進的な調査・研究を行う施設としてまいります。

さらに、ワンヘルスに関して学び、体験できる体験学習ゾーンを整備することで、県民はもとより、国内外から多くの人に集まっていただけるような教育・普及啓発の施設にもしてまいります。

【質 問】福岡県ワンヘルス認証農産物の輸出促進について

アメリカ獣医師会の幹部から大絶賛された福岡県ワンヘルス認証農林水産物を、今後、どのように輸出促進していくのかお伺いします。

【知事答弁】

福岡県が進めています「福岡県ワンヘルス認証制度」は、生態系の保全や温暖化の防止、環境負荷の低減など、ワンヘルスの理念に沿って生産された農林水産物や加工品を認証するもので、現在、認証品目は400品目を、認証を取得した農林漁業者は1万経営体を超えており、順調に拡大しております。

認証を取得している「あまおう」、八女茶、みかん等は、海外でも人気が高く、特に、欧米では、有機栽培など環境に配慮して生産された農林水産物が支持される傾向にあるため、認証農林水産物が受け入れられやすい環境にあると考えています。

こうした状況を踏まえ、米国を中心に、認証農林水産物の生産にかかるワンヘルスの取組を広く紹介することで、このブランド力を高め、さらなる輸出拡大につとめてまいります。

加えて、認証農林水産物の輸出を促進するとともに、ワンヘルスの理念についても広く発信を行ってまいります。

2024年3月4日

福岡ワンヘルス協議会・事務局